

中央環境審議会フロン類等対策小委員会
産業構造審議会地球温暖化防止対策小委員会
第 2 回合同会議の開催について

2012.5.16
環境省フロン等対策推進室

1. 経緯

- 代替フロン等 3 ガスに関しては、冷凍空調機器に使用される冷媒が、オゾン層破壊物質（CFC、HCFC）からHFC へ転換が進行することに伴い、今後排出量は大幅増加となる見込みである。また、フロン回収・破壊法等に基づく業務用冷凍空調機器の廃棄時冷媒回収率は約 3 割にとどまっている。さらに、機器使用時の冷媒排出が従来の想定を大幅に上回ることが判明している。
- こうした状況を踏まえ、経済産業省の産業構造審議会化学・バイオ部会地球温暖化防止対策小委員会、環境省の中央環境審議会地球環境部会フロン類等対策小委員会においてフロン類等の排出抑制に向けた対策について検討を進め、平成23年 3 月までにそれぞれ中間整理を行った。さらに平成23年 7 月、第 1 回合同会議を開催し、それまでの状況の共有を行った。
- 今般、経済産業省及び環境省でそれぞれ平成 23 年度に行った検討等の結果及び中央環境審議会地球環境部会における 2013 年以降の対策・施策に関する議論を受け、今後のフロン類等対策を推進する方策を検討するため、第 2 回の合同会議を開催する。

2. 開催概要

日時：2012 年 5 月 28 日（月） 15 時～17 時 30 分

場所：フロラシオン青山 『孔雀の間』

内容：平成 23 年度のフロン類等対策に関する検討状況について

2013 年以降の対策・施策に関するフロン類等対策に係る議論について
今後の対策の進め方について

第 2 回の合同会議開催後、フロン等対策について具体的に議論を行うため、継続的に開催予定。